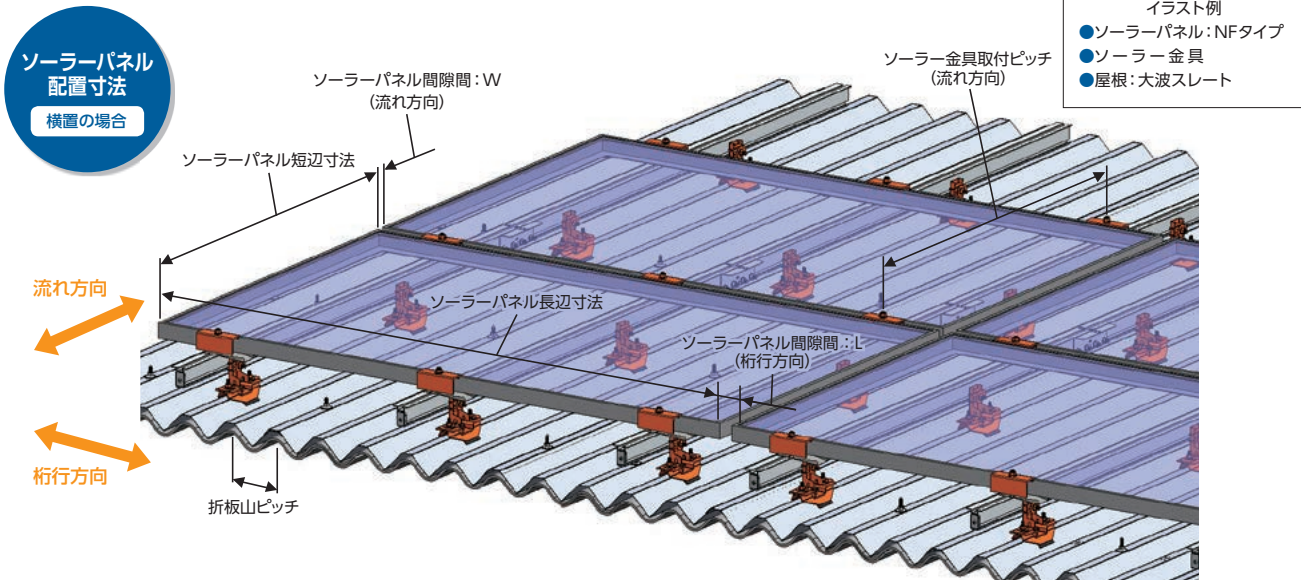


各部取合い寸法

⑥大波スレート ソーラーパネル設置工法



※ソーラーパネルメーカー様にて隙間の指定がある場合は、その指定に準拠してください。

ソーラーパネル間隙間 (桁行方向) : L

$$\text{桁行方向(最小寸法)} : L = \{ \text{折板山ピッチ} \times (\text{ソーラーパネル長辺寸法} \div \text{折板山ピッチ}) \} - \text{ソーラーパネル長辺寸法}$$

↓
小数点以下切り上げて整数にする

※最小寸法が5mm未満の場合は、折板山ピッチを加算してください。※替替金具(剣先ボルト)の配置によってはソーラーパネル固定位置を均等ににする為、最小寸法が変動する場合があります。

押さえ金具取付ピッチ (流れ方向)

$$\text{流れ方向} = \text{ソーラーパネル短辺寸法} + W \text{ (ソーラーパネル間隙間(流れ方向))}$$

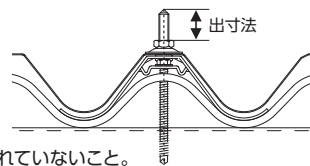
自在ラック取付位置 (桁行方向)

桁行方向: ソーラーパネルの取付穴付近に配置してください。

※ソーラーパネルメーカー様にて固定点数および固定位置の指定がある場合は、その指定に準拠してください。

設置条件について

- ① 葺替屋根に葺替える際の金具は必ず、弊社製品「スレートカバーーフ 650 用 葺替金具」をご使用ください。
- ② スレート工法用の架台設置を行う際は、弊社が指定した工法で屋根の葺替え工事が必要となります。屋根の葺替え方法については弊社までお問い合わせください。
- ③ ソーラー金具を設置する箇所は葺替金具(剣先ボルト)が必要です。屋根葺替時、葺替金具の配置にご注意ください。
- ④ 剣先ボルトに関して



- I . 葺替金具(スレートカバーーフ 650 用葺替金具)の剣先ボルトに著しい腐食・錆がなく、ネジ山に損傷がないこと。塗装されていないこと。
- II . 葺替金具の座金付ナットが容易に外せること。
- III . 剣先ボルトの出寸法(有効ネジ部)・・・ソーラー金具取付時、六角ナット(ダブルナット)の有効ネジが剣先ボルトに全て入っていること。
(必要な出寸法: 10mm以上)

屋根設置について (ソーラーパネル設置可能範囲)

- ① 軒先、妻(けらば)、包み、棟、採光部分(樹脂製屋根など)には設置しないでください。
(軒、妻への設置は設置条件および JIS C 8955 : 2011 の適用範囲外です)
また、ソーラーパネルは屋根端部から 500mm 以上離して、かつ壁線より内側に設置してください。
- ② ソーラー金具は壁線より内側に設置してください。
- ③ ラック材(アルミ)は屋根からはみ出さないように、屋根端部から 100mm 以上離して設置してください。
- ④ 屋根周辺部(外周)は屋根中央部に比べ、風圧荷重が大きくなる傾向があります。その為、ソーラーパネルは、屋根周辺部(外周)より、それぞれの辺長の 10% の範囲(辺長の 10% が 3m を超える場合は 3m とする。また、辺長の 10% が 500mm 未満の場合は 500mm とする。)を離隔し、設置することを推奨致します。
- ⑤ 屋根周辺部や棟・妻(けらば)側などに包み等が有り、剣先ボルトに被さっている場合は、ソーラー金具の取付は出来ません。

